



発行所
東京九嶺宮原同窓会事務局

電話 090-2421-7841 岡村

印刷：泰成印刷株式会社
電話 03-3631-8141

勇往邁進

東京九嶺宮原同窓会 会長 脇本省吾
(宮原13回)



一月に呉から便りが届きました。昭和三十四年に和庄中学校を卒業した我々同期生で、傘寿を迎える今年四月十五日に祝をやるという案内です。これまでも数年に一度は集まってきたのですが、八十才を迎えて今後、全体で集まることは大変だから、ここらで一区切りつけようとのこと。和庄中学校は、長迫・本通り・和庄の三小学校で構成されていたので、小学校の同期会でもあります。この度の新型コロナ禍により会合に出ることは無かったため、是非出席し、ワンパク時代の思い出話を咲かせたいと思っています。新型コロナといえ、三月十三日か

ら感染症法上の位置付けが5類の取り扱いに引き下げられることになり、凡ゆる行動に漸く活気が(十分ではないにせよ)戻って来るようです。然し、今から百年以上前のスペイン風邪のようにインフルエンザ並みとなり、年間約一万人以上の犠牲を出し続けるのであれば、嬉しさも中位なり、ということでしょうか。

三年前に新型コロナ禍の騒動が始まった頃は、我が身の残りの総時間は少ないが、当面は暇だから、読むべき本をじっくり読もうと意気込んだものでした。小学校の成績表にて持続力がないと指摘されたのですが、代わりに集中力は自信があったのです。が、それも無残に衰えて、目はかすみ、体力も落ち、目標の半分も達成できませんでした。それで途中から目標を変え、残りの人生を「人類は生き残れるか」というテーマで考えてみることにしました。

人類は巷間で言われているように、

次の幾つかの要因で滅亡するのではないか、と危惧されています。

第一は核を含む戦争です。戦争は飽くなき欲望と怨念のなせる業であり、今のホモサピエンスはそれ故に自滅する可能性ありと指摘されています。第二は感染症でしょう。この度のような感染症はこれからも少なからず出て来るらしい。未知の病原菌は無数にあるらしいのだと聞きました。第三は、気候変動とそれに伴う大災害です。以前読んだ本に、「二十世紀は穏やかであったが、二十一世紀はそうではない」と書かれてありました。そこに排気ガスが輪をかけて大災害を引き起こしているのだそうです。第四は、人間の劣化です。どういう劣化か。種としての人間は、男女とも中性化に向かっているとの説があります。また更に、知性・理性ある人間としては、資本主義の究極の結果である格差や、民主主義の欠陥による国民の分裂等ゆえ民主主義が行き詰まる、という現象。

これら四つの要因から人類が滅亡する可能性があると思います。それを見極める時間が私には勿論有りませんが、それでも、人生の残り時間はしっかりとそれを見続けていくことが、私の終活だと思えます。